

給料から

天引された 税金はどこへ？

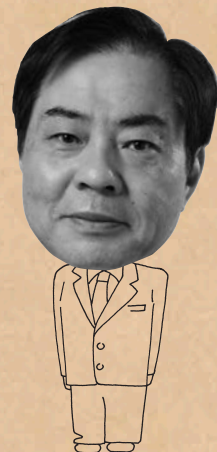
～使い方は、私たちが決めたい～



「政治なんて私には関係ない」と思われている方も多いかもかもしれません。でもちょっと待ってください。そもそも政治の役割とは何でしょうか？

私は政治の一番大事な役割は、私たちが納める「税金の使い方を決めること」だと思っています。道路や水道・下水道を整備したり、子育て・高齢者・障がい者の支援をしたり、学校で教育をしたりと、私たちの暮らしは税金で支えられています。たとえアルバイトであっても、税金は給料から天引きされていますし、消費税という形でも私たちは税金を納めています。

少子化が進み、労働人口が減っていくなかで、「限られた税金をどういう優先順位で使っていくか？」は大きな問題です。国の借金は今、国民一人当たり800万円と危機的な状況にあり、ムダ使いをする余裕はありません。私は、市民と一緒に税金の使い方を決める「市民参画予算」制度の導入を提案しています。この制度は海外をはじめ、国内でも少しずつ広がりつつあります。福岡市でも市民の声が高まっていけば、実施は可能です。



Ryusho Araki

◆福岡市議会議員
荒木龍昇

緑の党
グリーンズジャパン

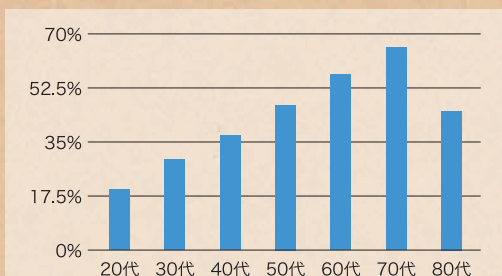
20代の声 “5人に1人”

昨年4月の福岡市議会議員選挙の「年代別の投票率」を見てみると、図のように、年齢が若い人たちほど投票に行っていないという現実があります。なんと20代は5人に1人しか投票へ行っていないんです。この傾向は、衆議院選挙や参議院選挙などの国政選挙でも同じです。これではこれからの社会を担う、若い人たちの声が政治に、社会に反映されません。

選挙権が20歳から18歳に引き下げられ、今年7月に行われる参議院選挙から18歳の人たちも投票できるようになります。投票するということは、「自分たちが住む国、地域、社会のあり方を決める」ことにつながります。

100%自分を代弁する議員を見つけるのは難しいかもしれませんが、未来を託す相手と思って、しっかりと見極め、投票へいきたいものです。日本では年々、投票率が下がっており、一定層だけの選挙参加は、偏った社会をつくりかねないという問題にもなっています。

2015年4月福岡市議選
年齢別投票率



「判断基準」をどこに持つか？

「政治に詳しくないし、無責任に投票していいのだろうか？」

「候補者のことも知らないし、同じようなことを言っているのだから、誰がいいか、わからない」

「投票へ行ったら、何も変わらないのでは？」

政治には様々なテーマがあり、全てを網羅するのは難しいかもしれません。しかし、「ここは!」という自身の気になるポイントを定め、必ず投票へいきたいものです。そして、少しでも自分の考えに近い議員を選ぶことが、少しずつ社会を変えることにもつながります。(白票を投じられる方も多いですが、あまり意味がありません) 私は以下のポイントを、外してはならない視点と考えています。

- ・もはや地球環境を無視した経済成長はありえず、目先の利益だけでなく、50年先、100年先も社会が環境を維持しながら健全でいられるかどうか? >>> **持続可能性**
- ・政策がフェアかどうか? 一部の人たちだけが利益を得るような政策ではないか? 将来世代に負担を押しつけるような政策ではないか? >>> **社会的公正**
- ・いろいろな価値観を認めているかどうか? 様々な価値観の人たちの声を反映できるような政治を目指しているかどうか? >>> **多様性・民主主義・非暴力**

たとえば原発は10万年以上も「核のゴミ」を未来の世代に押しつけることになります。これが持続可能で、フェアな政策だと言えるでしょうか? また、昨年9月に強行採決された安保関連法(戦争法)や自民党の改憲草案は、さまざまな人権を侵害し、多様性・民主主義・非暴力という視点からも私は反対です。

私たちの未来は、私たちが決めます。

6月19日以降から、選挙権年齢が18歳以上に。

日本では立候補は25歳以上からですが、世界には18歳以上から立候補できる国が48か国あります。日本も被選挙権(立候補する権利)年齢の引き下げの議論が必要ではないでしょうか。

皆さまの声が届く議会づくりを目指しています。

- ・ぜひ、市政に関するご意見や、日頃の生活の中でお気づきのことなどお聞かせください。
- ・2015年の議会報告書(無料)を希望される方は、ご連絡ください。



あらき事務所

☎ 092-862-8980

「あらき龍昇」公式ウェブサイト <http://www.araki-jp.com/>

— このニュースは、議員活動の一環として、税金から賄われる「政務活動費」を用い発行しています —